STOCK INFORMATION
株式の概況

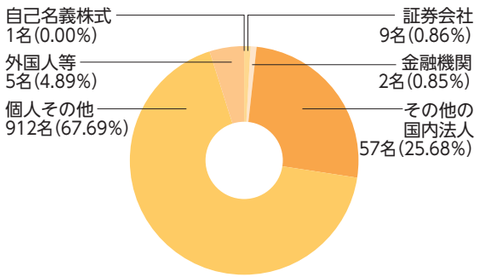
● 株式の状況 (平成23年3月31日現在)

発行可能株式総数…… 50,000,000株
発行済株式総数…… 14,700,000株
平成22年9月27日を払込期日とする第三者割当増資により、発行済株式数が2,000千株増加しております。
株主数……986名（前期末比30名増）

大株主

株主名	当社への出資状況 持株数
有限会社ドリーム・ワークス	2,550 千株
芝川洋	2,500
村木裕	1,123
SOCIETE GENERALE NRA NODTT	640
株式会社イビサ	372
エイケン工業株式会社	360
ムラキ社員持株会	284
村上洋二	262
志茂孝雄	236
前田喜美子	152

所有者別の構成比率（株式数比率）



● 株主メモ

事業年度 4月1日から3月31日まで
定時株主総会 6月中
基準日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
単元株式数 1,000株
株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先） 電話 0120-78-2031（フリーダイヤル）
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店および全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
公告掲載新聞名 日本経済新聞

お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出について
株主様口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

VEGETABLE OIL INK

2011 BUSINESS REPORT

第53期 株主通信
平成22年4月1日～平成23年3月31日

ムラキ株式会社

企業理念

ムラキは「人が好き、車が好き」
「ヒューマンカーライフの創造を通じ社会に貢献する」
ことを念じています。

経営ビジョン　「既存の商品、従来の販売領域を超えた、新ビジネスに挑戦します」

経営指針　ステークホルダーへの公約（経営姿勢）

顧　　客	安心・信頼感、価値ある商品、商品情報、サービスの提供
エンドユーザー	お客様の安全・快適・経済性の追求
パートナー	相互の情報交換と明確な機能分担による相乗効果の追求と、市場拡大による真のベストパートナーとしての共存共栄
社　　員	能力開発機会の提供、利益の共有
社　　会	環境対策配慮とコンプライアンスの徹底
株　　主	利益改善、事業領域拡大による公開企業としての責務完遂

TO OUR SHAREHOLDERS
株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたびの東日本大震災に被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興をお祈りいたします。

当社第53期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の事業の概要をとりまとめましたので、ここに本報告書をお届け申し上げます。

当社グループは、サービスステーション（ガソリンスタンド略称：SS）業界向けを中心に自動車メンテナンス関連商品、サービスの提供を行ってまいりましたが、SSを取り巻く環境は厳しく不安要因はあるものの、当社グループは事業の継続と発展の為、更なる経営改革を軌道に乗せ、安定した営業利益を確保できる体制構築を目指し引き続き、全社一丸となって、社業の展開に邁進する所存でございますので、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月

代表取締役社長　古屋　文男

BUSINESS OVERVIEW & FUTURE OUTLOOK

当期の概況と今後の見通し

● 当期の概況

わが国経済は、欧米の堅調な輸出による回復基調と、アジアにおける中国を中心とした高成長率を背景に雇用情勢が依然厳しいながらも、企業業績は一部に改善の兆が見え回復軌道にありました。しかしながら去る3月11日に発生しました東日本大震災は、物流網のみならず電力供給をはじめとする社会インフラに深刻な打撃を与え、国内経済に与える影響は計り知れず、先行き情勢を見極めることが困難な状況となっております。

このような状況下、当社グループの主力販売商品であるカーケア関連商品の販売先であるサービスステーション（略称：SS）業界においても、大手石油元売会社の合併による業界再編やSSの経営統合に加え、平成22年6月に消防法が改正されたことにより、SSの地下貯蔵タンクの油漏れに対する規制が厳しくなる中、SSは早急な対応を迫られております。この規制がSS経営にとって大きな負担となり、廃業へと拍車をかける要因となっております。さらに東日本大震災による顧客の減少と災害に起因して絶対的な燃料不足から、SSの休業状態が東北のみならず首都圏並びに北関東広域にまで拡大したことが売上高の減少となりました。一方販売施策として昨年度より取り組んでまいりました顧客別研修会の実施や、石油元売商事会社との連携強化による新規顧客の開拓等は計画どおりに進捗しております。また、当連結会計年度において自動車ディーラー部門の事業撤退も売上高減少の一因となりました。

収益面においては、従来より取り組んでまいりました卸価格の適正化が定着し、安定した収益が見込まれる状態となりました。

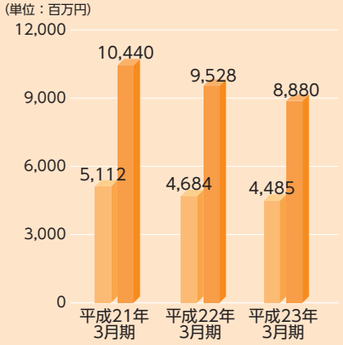
● 今後の見通し

当社グループの主力事業である「カーケア関連商品販売」事業の販売先であるSS業界の市場環境は、政府による景気刺激策等もあり緩やかな景気回復傾向にありましたが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、直接的な大打撃を受けた東北地方のみならず、二次的災害である原発の稼動停止からくる電力供給不足が経済界に及ぼす影響は計り知れず、緊迫した経営環境に陥ることは必至であり、個人消費の減速が予測されます。

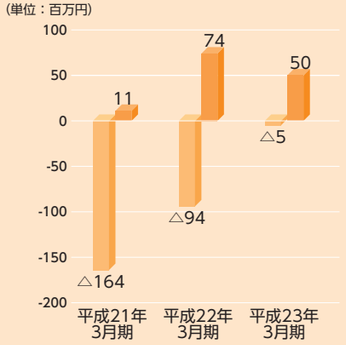
このような市場環境の中、販売体制の再構築は経営資源を適正配分することで、効率的な営業モデルを実現し、引き続き新規営業所の出店を積極的に実現してまいります。一方、物流体制の再構築としましては、物流コストの低減化と在庫多寡率の向上を目的とした、物流センターのサテライトを開設いたします。

昨年度より展開してまいりました環境関連事業の一環であります環境関連機器においては、大きな成果が見込まれる段階まで到達しておりますが、商品化の実現に向けてはもうしばらくの時間が必要とされる見通しです。最善を尽くし、一日でも早く環境配慮という社会貢献を実践していきたいと考えております。

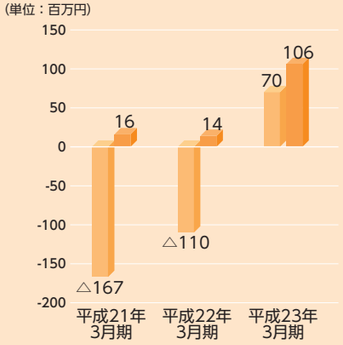
■ 売上高



■ 経常利益



■ 当期（中間）純利益



FINANCIAL DATA

財務データ

■ 連結貸借対照表（要旨）

(単位：千円)

科　目	当　期 (平成23年3月31日現在)	前　期 (平成22年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	2,554,053	2,481,447
固定資産	1,110,516	1,346,374
有形固定資産	586,772	751,434
無形固定資産	32,134	52,732
投資その他の資産	491,609	542,206
資産合計	3,664,569	3,827,821
負債の部		
流動負債	1,115,262	1,260,063
固定負債	375,339	573,011
負債合計	1,490,601	1,833,074
純資産の部		
株主資本	2,178,357	2,001,615
資本金	1,910,700	1,870,700
資本剰余金	88,604	58,604
利益剰余金	179,260	72,518
自己株式	△208	△208
その他の包括利益累計額	△4,389	△6,868
その他有価証券評価差額金	△4,389	△6,868
純資産合計	2,173,967	1,994,746
負債純資産合計	3,664,569	3,827,821

(注)　記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

■ 連結損益計算書（要旨）

(単位：千円)

科　目	当　期 (自 平成22年4月 1日 至 平成23年3月31日)	前　期 (自 平成21年4月 1日 至 平成22年3月31日)
売上高	8,880,426	9,528,384
売上原価	6,361,124	6,796,063
売上総利益	2,519,302	2,732,321
販売費及び一般管理費	2,501,138	2,697,507
営業利益	18,163	34,814
営業外収益	54,742	56,712
営業外費用	22,026	16,944
経常利益	50,879	74,582
特別利益	144,002	10,032
特別損失	46,647	25,519
税金等調整前当期純利益	148,234	59,094
法人税、住民税及び事業税	41,493	44,277
法人税等合計	41,493	44,277
当期純利益	106,741	14,817

(注)　記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

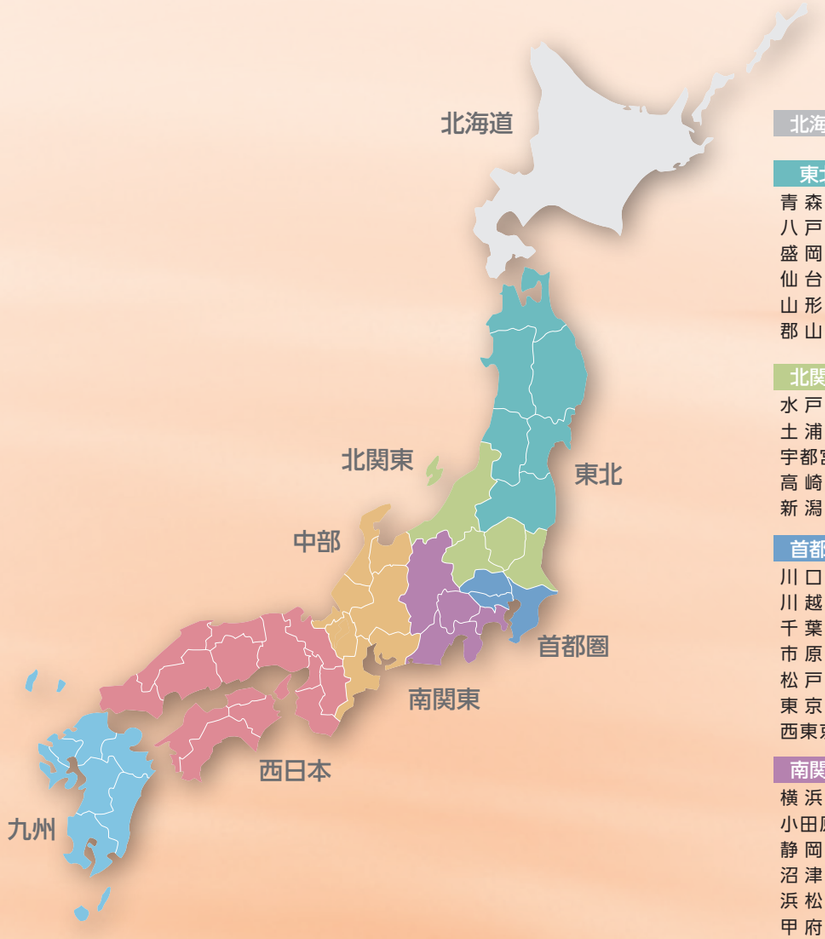
■ 連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

(単位：千円)

科　目	当　期 (自 平成22年4月 1日 至 平成23年3月31日)	前　期 (自 平成21年4月 1日 至 平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	163,190	△78,576
投資活動によるキャッシュ・フロー	152,629	84,012
財務活動によるキャッシュ・フロー	△61,246	4,060
現金及び現金同等物の増減額	254,573	9,495
現金及び現金同等物の期首残高	410,459	400,963
現金及び現金同等物の期末残高	665,032	410,459

(注)　記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

● ネットワーク（平成23年5月1日現在）



北海道支店

東北支店
青森営業所
八戸出張所
盛岡営業所
仙台営業所
山形営業所
郡山営業所

北関東支店
水戸営業所
土浦営業所
宇都宮営業所
高崎営業所
新潟営業所

首都圏支店
川口営業所
川越営業所
千葉営業所
市原営業所
松戸営業所
東京営業所
西東京営業所

南関東支店
横浜営業所
小田原営業所
静岡営業所
沼津出張所
浜松営業所
甲府営業所

中部支店
名古屋営業所
春日井営業所
津営業所
富山営業所
金沢営業所
福井営業所

西日本支店
大阪営業所
京都出張所
姫路営業所
広島営業所
岡山出張所
高松営業所
徳島出張所
松山出張所

九州支店
福岡営業所
北九州出張所
熊本出張所
長崎出張所
鹿児島営業所
宮崎出張所

物流センター
関東物流センター
（埼玉県児玉郡）

● 会社概要

商号	ムラキ株式会社
英訳名	MURAKI CORPORATION
本店所在地	〒206-0011 東京都多摩市関戸2-24-27 三ツ木聖蹟桜ヶ丘ビル　5F TEL 042-357-5600 FAX 042-357-5606
創業	昭和21年2月1日
設立	昭和32年11月15日
資本金	19億1,070万円（平成23年3月期）
従業員数	224名

● 役　員（株主総会承認日 平成23年6月28日）

取締役会長	田中舘　喬
代表取締役社長	古屋　文男
常務取締役営業本部長	永井　清美
取締役管理本部長	関冨　直彦
常勤監査役	吉田　誠
監査役	加藤　全彦
監査役	川口　幸信
執行役員商品流通部長	野口　顕一
執行役員販売部長	三橋　克己
執行役員経理部長	上中　良典
執行役員総務人事部長	大矢　敏之

● ムラキグループ

㈱テックコーポレーション

神奈川県川崎市麻生区高石3-30-2

カーディティーリング（ウインドリペア、ボデーガードコート他）やデザインクラフト工房（看板、チラシ、ポスターのデザイン・企画・印刷等）の機能を活用し、ムラキをサポートしています。

㈱ムラキエージェンシー

東京都調布市仙川町1-11-16
ハラダビル 2F

旅行の企画・提案および手配、各種保険の取扱いやお問合せなど、懇切丁寧をモットーに取り組んでいます。

● ホームページのご案内

当社ホームページでは企業情報や財務情報をはじめとした最新情報がご覧いただけます。
http://www.muraki.co.jp/